

平成17年度

# タウンミーティング 「市長と語る」

の

# 記 録

八王子市 総合政策部 広聴広報室

# 目 次

はじめに

1. テーマ	1
2. 要望等項目別件数	1
3. 各会場の実績	2
4. 所管別内容	
(1)所管別件数一覧表	2
(2)所管別件名一覧表	3
5. 要望、市長答弁要旨及び担当所管	
北部地域	7
西部地域	11
西南部地域	15
東南部地域	18
東部地域	21
中央地域	26
6. 過去の提案等取り組み状況	30
7. 会場配布資料	38

## はじめに

市長が各地域に出向いて、市民の皆様から直接、市政についてのご意見・ご提案等をお聴きする“タウンミーティング「市長と語る」”も、今年で6年目を迎えました。

タウンミーティングでは、市長による市政報告とともに、参加された市民の皆様からのご提案やテーマに沿った先進的な地域活動事例の報告をいただくなど、より地域の皆様と一緒にまちづくりを考える機会となるよう「住民参加型」のミーティングをめざしています。

さて、阪神・淡路大震災をはじめ、各地で起こった大地震や水害の教訓のもと、今、地域での防災対策の必要性が求められています。

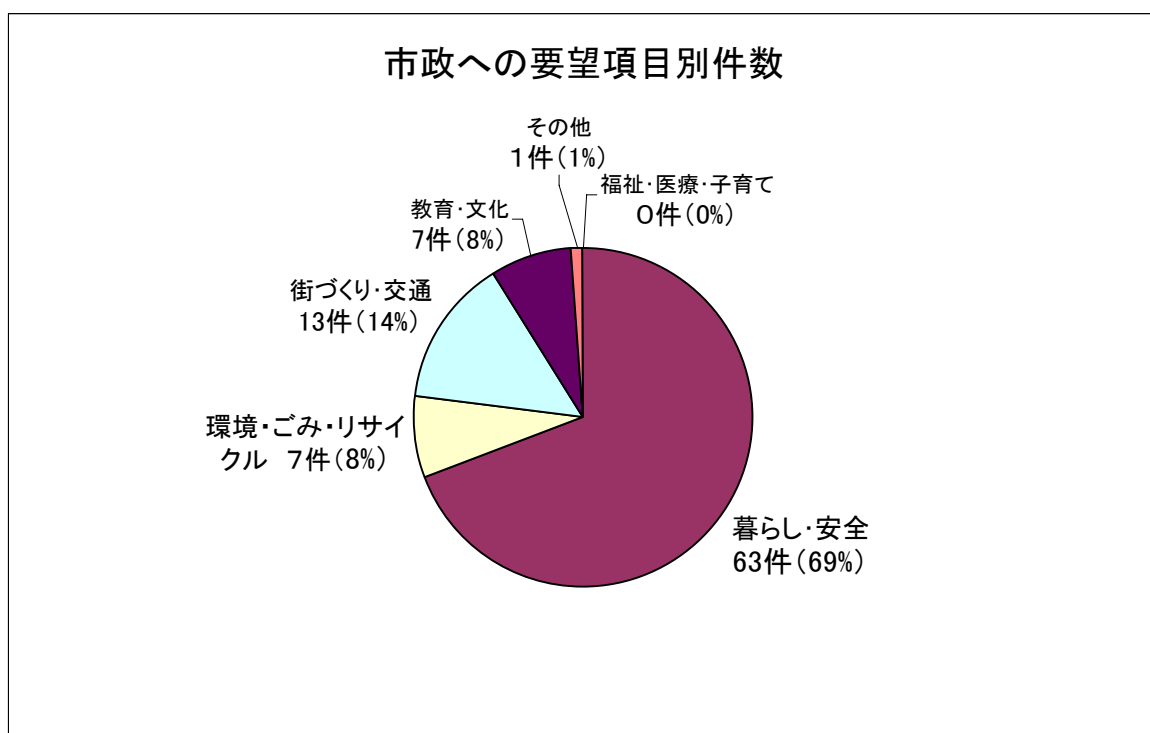
そこで、今回は、「みんなでつくる安全・安心なまち ～育てよう地域の防災力～」をテーマに、災害から私たちの大切な家族や暮らしを守るために地域で取り組めるアイデアを、市長にご提案いただきました。

これらを真摯に受けとめ、今後の施策への反映に努めるべく、そのまとめとして本書を記すこととします。

# 1. テーマ みんなでつくる安全・安心なまち～育てよう地域の防災力～

## 2. 要望等項目別件数

開催日	会場	地域	地区	福祉・医療・子育て	暮らし・安全	環境・ごみ・リサイクル	まちづくり・交通	教育・文化	その他	合計
5月21日	加住市民センター	北部	加住 石川	0	10	5	1	1	0	17
5月29日	恩方市民センター	西部	元八王子 恩方 川口	0	6	1	3	1	1	12
6月4日	横山事務所	西南部	浅川 横山 館	0	10	1	5	1	0	17
7月9日	北野事務所	東南部	由井 北野	0	11	0	1	1	0	13
7月16日	由木東市民センター	東部	由木 由木東 南大沢	0	9	0	3	3	0	15
7月23日	市役所本庁舎	中央	本庁	0	17	0	0	0	0	17
合計				0	63	7	13	7	1	91



### 3. 各会場の実績

開催日	会 場	地 域	地 区	参加者数 (人)	発言者数 (人)	発言項目数 (件)
5月21日	加住 市民センター	北 部	加 住 石 川	83	11	17
5月29日	恩方市民センター	西 部	元八王子 恩 方 川 口	95	8	12
6月4日	横 山 事 務 所	西南部	浅 川 横 山 館	103	8	17
7月9日	北 野 事 務 所	東南部	由 井 北 野	117	8	13
7月16日	由木東市民センター	東 部	由 木 由 木 東 南 大 沢	103	10	15
7月23日	市 役 所 本 庁 舎	中 央	本 庁	103	12	17
合 計				604	57	91

### 4. 所管別内容

#### (1) 所管別件数一覧表

部 名	件 数	部 名	件 数
市民活動推進部	1	学 校 教 育 部	2
税 務 部	1	生涯学習スポーツ部	4
生 活 安 全 部	63		
環 境 部	7		
まちづくり計画部	4		
まちなみ整備部	4		
道 路 事 業 部	6	合 計	92

## (2)所管別件名一覧表

市民活動推進部		1件
発言番号	発言項目	開催日
25	市民センターの利用料金について	5月29日
税 務 部		1件
発言番号	発言項目	開催日
21	自治会保有地への課税免除について	5月29日
生活安全部		63件
発言番号	発言項目	開催日
1	北八王子町会防災会の結成及び課題について(報告)	5月21日
2	左入町会自主防災組織の活動について(報告)	5月21日
3	災害時の連絡網について	5月21日
7	道の駅を避難場所に使えないか	5月21日
8	高齢者の確認用資料について	5月21日
9	防災パンフレットの各戸配付について	5月21日
10	災害時の工作機械の要請について	5月21日
12	災害時の薬の必要性について	5月21日
14	貯水槽と谷地川の水の確保について	5月21日
16	災害時の救出の際の責任について	5月21日
18	恩方地区防災協議会の取組みについて(報告)	5月29日
19	防災組織の無い地区の弱者救済について	5月29日
20	災害時のアマチュア無線の活用について	5月29日
22	防災倉庫の管理について	5月29日
23	防災協議会の認知について	5月29日
29	緊急避難所の案内板について	5月29日
30	船田町会の防災活動について(報告)	6月4日
33	自主防活動に対する保険制度について	6月4日
34	市の備蓄強化について	6月4日
37	災害時救助道具の置き場所について	6月4日

38	現状を捉えた事業計画の立案について	6月4日
39	市の防災体制、ガイドラインについて	6月4日
40	立地の特色を活用した防災について	6月4日
41	緑地保全地域の雑木・倒木等について	6月4日
43	備蓄倉庫の水、食料に倉出しについて	6月4日
44	乾パンの包装について	6月4日
47	片倉台自治会自主防災会の取組みについて(報告)	7月9日
48	北野台自治会自主防災会の取組みについて(報告)	7月9日
49	C級可搬ポンプの支給について	7月9日
50	小中学校プールのろ過機の点検について	7月9日
51	無線設備の災害時の活用について	7月9日
52	校内にある防災倉庫について	7月9日
54	防災倉庫設置に対する補助金について	7月9日
55	災害への取組み情報の共有について	7月9日
56	自主防災組織の立ち上げについて	7月9日
57	ボランティア保険について	7月9日
58	支給される防災用具について	7月9日
60	松が谷団地自治会の防災訓練について(報告)	7月16日
61	南陽台自治会防災隊の活動について(報告)	7月16日
62	防災井戸の設置について	7月16日
64	防災準備品の内容を広報に掲載して	7月16日
65	避難や連絡方法の広報掲載について	7月16日
66	生活用水確保のため、井戸や浄水器の確保を	7月16日
67	エコトイレ等について	7月16日
68	防災キャンプについて	7月16日
71	地域の防災力を高めるために	7月16日
75	元横山町第二町会の防災活動について(報告)	7月23日
76	新町町会の防災活動について(報告)	7月23日
77	組織規模に応じた、体系的な水の確保の推進について	7月23日
78	聴覚障害者の防災対策①(防災笛の配付について)	7月23日
79	聴覚障害者の防災対策②(緊急連絡体制の整備について)	7月23日
80	聴覚障害者の防災対策③(広域避難所の指定について)	7月23日

81	市の年間防災計画について	7月23日
82	泉町の防災について	7月23日
83	備蓄品について	7月23日
84	非常食等のストック品の提供について	7月23日
85	防災についての関心度について	7月23日
86	災害時の連絡方法について	7月23日
87	防災の日の設置について	7月23日
88	災害時の銭湯有効利用について	7月23日
89	災害時の来街者の対応について	7月23日
90	他市との災害時の協力について	7月23日
91	自衛隊の派遣要請について	7月23日

## 環 境 部

7件

発言番号	発 言 項 目	開催日
4	ごみ集積所の管理について	5月21日
5	「みんなの町の清掃デー」について	5月21日
6	昭島市ごみ焼却によるダイオキシン汚染と地域の安全について	5月21日
11	ごみの不法投棄について	5月21日
13	民地への不法投棄について	5月21日
28	廃棄物の不法投棄について	5月29日
36	雨水利用への補助策実施について	7月9日

## まちづくり計画部

4件

発言番号	発 言 項 目	開催日
7	道の駅を避難場所に使えないか	5月21日
27	高尾駅北口付近の開発進展状況について	5月29日
45	長房第二団地の跡地利用計画について	6月4日
59	八王子バイパス料金の再検討を	7月9日

## まちなみ整備部

4件



発言番号	発言項目	開催日
24	市民公園の利用について	5月29日
31	危険なブロック塀の点検について	6月4日
32	建物耐震補強支援について	6月4日
42	公園内への暖炉の設置について	6月4日

#### 道路事業部

6件

発言番号	発言項目	開催日
15	赤道が資材置場になっていることについて	5月21日
26	違法広告物の撤去について	5月29日
45	長房団地の道路拡幅整備促進について	6月4日
63	橋下居住者対策について	7月16日
73	歩道(坂道)での自転車走行について	7月16日
74	街路樹の剪定について	7月16日

#### 学校教育部

2件

発言番号	発言項目	開催日
52	校舎等の耐震補強工事について	7月9日
72	中学生に防災のカリキュラムを	7月16日

#### 生涯学習スポーツ部

4件

発言番号	発言項目	開催日
17	フットサルのホームタウンについて	5月21日
35	中央図書館に減災ライブラリーの創設を	6月4日
69	学校開放運営事業の継続と地域の防災力向上について	7月16日
70	学校開放運営事業の継続について	7月16日

## 5. 要望、市長答弁要旨及び担当所管

(発言者敬称略)

【北部地域】

平成 17 年 5 月 21 日 (加住市民センター)

発言番号	地域活動報告 (発言者)	担当所管
1	<p><b>【北八王子町会防災会の結成及び課題について】(報告)</b></p> <p>北八王子町会には防災委員会があるが、災害発生時の対応については決めていなかった。昨年各地での台風による被害、又、新潟県中越地震等で災害発生時地域住民の協力体制の重さを感じ、昨年町会内で検討し、4月に北八王子防災会を結成。町会の防災委員会とは別に町会長が会長となり理事・役員が活動の中心となり緊急連絡、啓蒙、訓練等、町会組織を生かしている。近年、集合住宅の増加に伴い町会未加入者が増加しており、啓発と災害発生時の対応、町内企業、商店、保育園、小中学校との連携、災害用具の完備が課題となっている。</p> <p>(武藤 茂治郎)</p>	生活安全部
2	<p><b>【左入町会自主防災組織の活動について】(報告)</b></p> <p>当町会は、住民の共同の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、地震その他の災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的に、平成7年4月「左入町会自主防災会」を結成した。現在、町会加入世帯は全て防災会に加入しており、町会組織を生かしながら、緊急連絡網の配備、防災知識の普及や訓練等を進めている。つぎに大切なこととして、地域のマニュアル作り、防災器具、72時間のトイレ対策について、今後町会として進めていきたい。</p> <p>(細井 衛)</p>	生活安全部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
3	<p><b>【災害時の連絡網について】</b></p> <p>電話や携帯電話が使えなくなる災害時、市・行政とどのように連絡を取り合うかが大きな問題の一つだと思う。左入町会として、お互いに無線機でやる方法が一番良いと考えているが、市としても、そういう設備を、是非作ってほしい。</p> <p>(細井 衛)</p>	無線も当然大事な方法であると思う。消防団の無線等、活用できるものもあるが、今後もより良いものを考えなければいけないと考える。	生活安全部
4	<p><b>【ごみ集積所の管理について】</b></p> <p>個別収集でないリサイクル品(缶・ビン・紙類等)の集積場所の管理がまだ徹底されず、近隣住民は迷惑している。以前、集積場所に収集日毎の掲示物を表示するよう要望したが、未だ実現されない。また、全て個別収集はできないものか。</p> <p>(小澤 茂雄)</p>	大部分の地域ではきちんと管理されているが、そうでないところについては、地域にあったPRの方法を個別に考えたい。	環境部

【北部地域】

平成 17 年 5 月 21 日 (加住市民センター)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
5	<p>【「みんなの町の清掃デー」について】</p> <p>町の美化「空き缶拾い」については、大変有意義な事と思い毎回参加している。空き缶以外のごみは拾わないようにと言われるが、当日収集可能なごみは市民が協力し収集の上、市が責任持って処分すべきだと思う。 (小澤 茂雄)</p>	<p>空き缶以外のごみもボランティア袋で是非お願いしたいということ町会長・自治会長にお願いしている。</p>	環境部
6	<p>【昭島市ごみ焼却によるダイオキシン汚染と地域の安全について】</p> <p>昭島市ごみ焼却場周辺の土壌ダイオキシン汚染は、7年後の今も解決を見ていない。昨年末には、住民意思を無視して「プラザ建設説明会」を強行した。また、「三者連絡会」の呼びかけも含め、子どもたちの将来の健康のために、市長に引き続き支援願いたい。 (樋口 明仁)</p>	<p>今まで、昭島市に可能な限り誠意ある対応をするよう何回も要請している。リサイクルプラザについては、地域の同意が得られなければ賛成できないので、他の適地を見つけるよう話した。「三者連絡会」についても、いずれ開催されるものと考えている。</p>	環境部
7	<p>【道の駅を避難場所に使えないか】</p> <p>道の駅には休憩所があり、会議室や、食堂、厨房があるということなので、付近の住民の一時避難場所として使用できないか。 (三枝 眞明)</p>	<p>せっかくあれだけのものをつくるのだから、防火水槽や備蓄倉庫の設置も含めて考えた方が良くと思う。早急に検討する。</p>	生活安全部 まちづくり 計画部
8	<p>【高齢者の確認用資料について】</p> <p>災害弱者である高齢者がどこに住んでいるのか、独居老人、病人あるいは高齢者夫婦、等の実態が資料化されていなければ、誰がまだ避難場所に来ていないか把握できない。そういう資料を市役所だけが持っているのではなく、地域の人たちの誰か責任ある者が持ち、それでチェックできる体制を取る必要性があると思う。 (三枝 眞明)</p>	<p>地域の高齢者の方々の状況については、民生委員も家具の転倒防止器具の配付に協力するため、基本的には把握している。プライバシーの問題にも十分配慮しながら、把握していなければならないと思う。行政も地域での共助をバックアップしながら把握に努めたい。</p>	生活安全部
9	<p>【防災パンフレットの各戸配付について】</p> <p>防災パンフレット等を保存版の一冊の本のような形にして、各戸に配付し、これを見て食料はなぜ3日間位確保していなければならないか、一時避難場所はどこか等をきちんと皆さんに伝え、市民の防災意識の向上を図っておく必要があると思う。 (三枝 眞明)</p>	<p>来年度予算で防災マップを全戸配付する予定なので、何を家庭で保管しなければならないか等の必要事項を書き加えて配付したい。</p>	生活安全部

【北部地域】

平成 17 年 5 月 21 日 (加住市民センター)

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
10	<p><b>【災害時の工作機械の要請について】</b> 市では建築業界の人たちとの協定があると思う。震災があった場合に道路等の倒木、あるいは土砂崩れで遮断された場合に、工作機械を持っている業者に町会長が直接要請することは可能か。費用の問題が出てくると思うがどうか。(三枝 眞明)</p>	<p>市内の建設業会の方々と協議をし、基本的には市の指示で、市の費用により全面的な協力をしていただけることになっている。</p>	生活安全部
11	<p><b>【ごみの不法投棄について】</b> 加住町二丁目の奥にある山にいったところ、ごみの不法投棄がすごい。大変なごみが、山積みで不法投棄されている。やぐらのように組んだH溝には、資材等がいっぱいある。また、残土など捨てたものが、山になって水路を完全に埋めている。(村内 道昌)</p>	<p>告発をすれば当然警察が取り締まるが、市も一定の段階までやる必要があり、夜のパトロールも行っている。このようなひどい例は初めて伺ったので、直ぐに所管に現場を見させて対応する。</p>	環境部
12	<p><b>【災害時の薬の必要性について】</b> 宮下町には、老人ホームや病院等で患者等 400 人ほどいる。災害時には衣食住は足りると思うが、薬局が必要になると思う。宮下・加住地区には、そういった施設がないので、市として何かできないか。(三橋 道子)</p>	<p>市で薬局をとというのは現実的でない。市は薬剤師協会と協定しており、協力をいただくことになっている。また、老人施設で災害時最低限必要な救急医薬品等をそろえているのかどうか確認してみたい。</p>	生活安全部
13	<p><b>【民地への不法投棄について】</b> 道路にテレビ等が不法投棄されていると市で片付けるが、民地に捨てられると市では片付けてくれない。確かに個人の土地かもしれないが、不法投棄されたものなので、市として対処してほしい。(井上 二三男)</p>	<p>検討するので少し時間をいただきたい。</p>	環境部

【北部地域】

平成 17 年 5 月 21 日 (加住市民センター)

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
14	<p>【貯水槽と谷地川の水の確保について】</p> <p>昔、谷地川では、火災の時に使えるほど水が溜まっていた。現在は役立つほど水が無いが、そういう状況で、水が止まったときに、水源として安心できる貯水槽が無ければ、早急に谷地川に水溜りでも保存してほしい。</p> <p>(好永 幾雄)</p>	<p>貯水槽の整備はしている。全市民の3日分の飲料水は確保している。防火水槽も市全域で現在 310 か所設置している。</p>	生活安全部
15	<p>【赤道が資材置場になっていることについて】</p> <p>高月病院の裏のところ、残土が埋めつけられている。また、真上裏では、業者が資材置場にしている。赤道がかかっているはずだが、どういう行政指導になっているのか。</p> <p>(尾熊 治郎)</p>	<p>確認し、後日お返事する。</p>	道路事業部
16	<p>【災害時の救出の際の責任について】</p> <p>災害時に救出する際は、助ける側に大きな責任と重圧がある。助ける時の事故については、市が全面的に責任をとってくれるのか。</p> <p>(小澤 茂男)</p>	<p>市としては、そこまでは責任取れないと思う。自主防災などの成り立ちを考えて常識で判断していただきたい。</p>	生活安全部
17	<p>【フットサルのホームタウンについて】</p> <p>フットサルは、18 年度から地域密着型のプロ化の準備をスタートし、19 年度に正式発足が予定されている。八王子が、ホームタウンになることはできないか。</p> <p>(鈴木 明子)</p>	<p>初めてお聞きしたが、正式な機関を通じてお話でもいただければ検討できる。</p>	生涯学習 スポーツ部

発言番号	地域活動報告 (発言者)	担当所管
18	<p><b>【恩方地区防災協議会の取り組みについて】</b></p> <p>平成 6 年、下小田野町会で自主防災隊を結成後、周辺の町会で集まり組織化しようと考え、13 町会で恩方地区防災協議会を結成した。防災訓練の参加者の規模を 1,000 人レベルと想定し、実施している。地域の役員にも声をかけ、協力を得ている。また、消防署・警察署からも積極的な応援を得ている。実施日は毎年 11 月の第二日曜日と決め、4 月から準備を開始している。</p> <p>(金井 雅城)</p>	生活安全部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
19	<p><b>【防災組織の無い地区の弱者救済について】</b></p> <p>私たち消防庁の災害時支援ボランティアは、八王子消防署に 200 余名登録され、常々、救命・消火訓練等に参加している。防災組織が立ち上がっていない地域の高齢者等への対応はどう考えているか。市民防災を考えるフォーラムの立ち上げについて市長は承知しているか。</p> <p>(細田 浩三)</p>	<p>いろいろな面で、ご尽力いただき、大変ありがたい。高齢者、障害者への対応についても、適切な支援ができるようにしたい。家具転倒防止金具の配付も行っている。フォーラムについてはまだ市では把握していない。</p>	生活安全部
20	<p><b>【災害時のアマチュア無線の活用について】</b></p> <p>災害時に、市役所と市内各地区とが、どの周波数を使用するかなど取り決めておかないと、災害時に交信しても混信ばかり発生し、行政と連絡がつくか不安である。そこで提案だが、八王子市の単位で電波法特区の申請をし、どんな組織や決まりで災害に備えることができるか実践と研究をすすめる。電波法を改正するなど方向性がでてくれば、全国の市民が持っている通信手段を有効に活用する方向が見出せ、防災力の向上に役立たせることが出来ると考えるが、どうか。</p> <p>(松原 治良)</p>	<p>市は、災害発生時、地域防災無線で情報収集し、防災行政無線で市民にお知らせする体制をとっている。また、八王子のアマチュア無線クラブほか 3 団体と「非常無線通信の協力に関する協定」を結び協力をお願いしている。電波法特区申請というより、全国的な規制緩和が必要なことの一つと考えるが研究したい。</p>	生活安全部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
21	<p><b>【自治会保有地への課税免除について】</b>            当団地は、汚水処理場跡地の更地を保有し、固定資産税が課税されている。防災訓練や一時的な避難場所に使用するため、自治会で保有を続けようと考えても、課税がネックとなる。公共の場として使用するときは、課税しないようお願いしたい。            (吉田 喜平)</p>	<p>自主防災の倉庫をつくるなど、地域共有の財産としての使用目的が明確になっていなければ、自治会の所有地だからといって非課税にするのは難しい。</p>	税務部
22	<p><b>【防災倉庫の管理について】</b>            防災倉庫の鍵は、災害時等非常時には、近くの人が開けられるように、また、非常時には、鍵がなくても開けられるようにできないか。            (金井 雅城)</p>	<p>校門と防災倉庫の鍵の連動も考えながら改善を検討する。地域の皆さんのご協力もいただきたい。</p>	生活安全部
23	<p><b>【防災協議会の認知について】</b>            恩方地区防災協議会は、恩方地域の 13 町会が合同で組織しているが、団体として取り上げてもらえない。災害時の地域的な対応等も考えると、地域でまとまった地域防災会のような取り組みも必要。市全体にかかわる話は、地域協議会の代表者がするようなシステムはどうか。(金井 雅城)</p>	<p>現在、八王子は 6 地区に分けて環境問題に取り組んでいるが、その地域分けでよいのかも含めよく検討しながら、将来的には地域分けの協議会の設置が好ましいことだと思う。</p>	生活安全部
24	<p><b>【公園の利用について】</b>            公園では、野球・サッカーの利用が禁止されているが、ネットなど囲いがある公園では、利用できないか。(前原 教久)</p>	<p>万一事故があった場合、本来お互い様や自己責任だったものでも、賠償責任の問題になってしまうので、その辺りの解決が難しいが、子どもたちにスポーツを通じて健全に成長してもらいたいので、研究が必要。</p>	まちなみ整備部
25	<p><b>【市民センターの利用料金について】</b>            市民センターを利用する際に、公共性のある団体の利用料金を無料にすることはできないか。(前原 教久)</p>	<p>公共性があり地域のための活動ということは理解できるが、老朽化した館の大規模修繕費や、光熱費がかかるため一定の負担をお願いしたい。</p>	市民活動推進部

## 【西部地域】

平成 17 年 5 月 29 日 (恩方市民センター)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
26	<p><b>【違法広告物の撤去について】</b></p> <p>①捨て看板除去協力員の講習会を地元でできないか。</p> <p>②違法広告物の多くは、電話番号等が入っている。直接行政指導できないか。</p> <p>(前原 教久)</p>	<p>①地元での講習会は是非やりたい。一定の人数を集めていただければ、出張して講習会を行う。</p> <p>②実際に電話をして撤去させたこともある。みんなで見張る気持ちが大事。</p>	道路事業部
27	<p><b>【高尾駅北口付近の開発進展状況について】</b></p> <p>①高尾駅前広場周辺の開発の構想をどの程度進めるのか。</p> <p>②初沢踏切付近の開発は。</p> <p>③北口付近の土地(地権者)との話し合いや、国と都と市とJR、京王との協議内容を知りたい。</p> <p>(後藤 孔滋)</p>	<p>全体的な現状についてお話しすると、地権者との第2回目の意見交換を6月に実施。南北自由通路、北口駅前広場、初沢川、初沢踏み切りを一体として行う予算も確保。国の「まちづくり交付金」制度も使って整備を進めたい。今年は800万の予算で基本計画の作成を委託。全力を尽くす。</p>	まちづくり計画部
28	<p><b>【廃棄物の不法投棄について】</b></p> <p>ごみ、廃棄物の不法投棄が横行している。高尾警察と連携をとって、アクションをとっているが、事態はよくなっていない。今の段階でこの現状を直視し、環境部のなかに廃棄物の不法投棄に歯止めをかけるために専任のプロモーターを設定し、将来に展望できるような組織運営を図っていただきたい。</p> <p>(渡邊 章夫)</p>	<p>八王子は面積が広いので夜間パトロールをしても捨てられる。不法投棄が多いところに防犯カメラをつけることも検討している。警察ともよく連絡をとり、可能な限り対応していきたい。ご提案も参考にさせていただきたい。</p>	環境部
29	<p><b>【緊急避難所の案内板について】</b></p> <p>元八地区には、緊急避難場所の案内板がないが、その設置をどう思うか。</p> <p>(澤井 清作)</p>	<p>来年度、避難場所等必要なものも加えた防災マップを全戸配付する予定。</p>	生活安全部



発言番号	地域活動報告（発言者）	担当所管
30	<p><b>【船田町会の防災活動について】</b>            防災力を発揮するのは、その地域がよくまとまっているか（コミュニケーションが充分取れているかどうか）だと思っている。防災部員に必ず、各地区のまとめ役に入ってもらい、最低2年間活躍いただいている。            （橋爪 寛行）</p>	生活安全部

発言番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
31	<p><b>【危険なブロック塀の点検について】</b>            コンクリートブロックなどの高くて重い塀は、地震で道路側に倒壊する危険がある。危険な塀の点検を提案する。            （安達 守弘）</p>	<p>広報でブロック塀の点検・危険防止策を呼びかけ、建築指導課で専門家を紹介するということをしたい。</p>	まちなみ整備部
32	<p><b>【建物耐震補強化支援について】</b>            建物耐震補強化支援（最大の予防策）として、地元建設業者、設計事務所、NPO、ボランティアを組織化して、①低価格での建物診断制度の実施（市の補助金も拡大）②家計予算に応じる段階別見積書の作成、など行ったらどうか。（古田 清司）</p>	<p>①木造住宅の耐震診断助成制度を設け一定の補助をしている。また、（社）東京都建築士事務所協会八王子支部に協力いただいている。            ②現在でも、診断の話し合いの中で、予算に応じて、まずやらなければならない部分、次の段階を見積している。</p>	まちなみ整備部
33	<p><b>【自主防活動に対する保険制度について】</b>            現在、地震時の活動には保険がないため、指示・指揮が出せない。消防団に準ずる、保険の導入を国に働きかけてほしい。            （古田 清司）</p>	<p>市だけでは、消防団に準ずる保険の導入はできないので、国にも当然考えてもらうよう働きかけをしなければならない。現状では、自主防災の訓練、地域の防災訓練は届出していただければ対象になるが、地震のときはでない。</p>	生活安全部
34	<p><b>【市の備蓄強化について】</b>            阪神大震災時、神戸では陸路が塞がれても、海路から物資が大量に搬入できた。しかし、八王子は陸路しかないため、更なる備蓄・強化が必要。個人の備蓄も強化するためのキャンペーンも行ってほしい。            （古田 清司）</p>	<p>八王子の場合、東西にも南北にも幹線道路が走っており、救援物資の搬入のための全ての陸路が長期に塞がれてしまうことは考えられない。</p>	生活安全部
35	<p><b>【中央図書館に減災ライブラリーの創設を】</b>            住民の更なる防災意識の向上のために、資料を一堂に集め系統だって閲覧できるようにしてほしい。個人が買い揃えるには負担が大きい。            （石塚 完）</p>	<p>毎年、9月1日防災の日前後には、図書館でそのような書籍等のコーナーを展示している。防災や減災の図書は、これから少し力を入れて購入し、わかりやすいコーナーとなるよう工夫したい。</p>	生涯学習スポーツ部

発言 番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
36	<p><b>【雨水利用への補助策実施について】</b> 震災時、飲料水の確保は何とかできても、トイレなどの生活用水の確保が困難を極め、生活に大きな支障をきたしたことはよく知られている。非常時の生活用水確保のため、補助金や共同購入の斡旋などをしてほしい。 （石塚 完）</p>	<p>下水道の完備や開発により、川の水量が減ってきている。今後は、保水について、雨水の浸透枘の設置や一時水をためること等、力を入れていくため研究を始めている。</p>	環境部
37	<p><b>【災害時救助道具の置き場所について】</b> 大地震の時、家の下敷きになった人たちをその場ですぐ救助可能とするため、交番や駐在所、警察、消防、町内の会館、病院、他適当な所に救助道具を置いてはどうか。また、道具の使い方及び家の構造などよく知っている建設業者に、事前をお願いしてはどうか。救助の機械だけをあてにせず、道具の置き場所と道具を増やすべきだと思う。 （米田 信三）</p>	<p>自主防災組織の備蓄倉庫に基本的な救出用具の5点セット（バール、ハンマー、とび口、スコップ、ツルハシ）を揃えていきたい。ジャッキやチェーンソーも可能な限り備えていきたい。町会の会館にも保管していただいているところがある。定期的に広報で、どこにそれらが備えられているかお知らせしなければならないと考えている。</p>	生活安全部
38	<p><b>【現状を捉えた事業計画の立案について】</b> 自主防災隊の年間事業計画の状況を市としてどこまで認識しているのか。 （幕内 忠一）</p>	<p>自主防災は、地域によって差はあると思う。組織ができない地域もある。基本的なことは共通で、また、それぞれの地域、環境にあった自主防災の充実を進めていただきたい。</p>	生活安全部
39	<p><b>【市の防災体制、ガイドラインについて】</b> 市の防災体制と自主防災隊との接点はうまくかみ合っているのか、市の現状認識を伺いたい。また、各地域の自主防災組織活動に対する、行政としての平成17年度、18年度のガイドラインを知りたい。 （幕内 忠一）</p>	<p>自主防災隊と市の防災課は、常時関連しながら一緒になって自主防災の組織の拡充や充実に努めている。</p>	生活安全部

発言 番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
40	<p><b>【立地の特色を活用した防災について】</b> 大地震で、自治会が市に頼らずに当分の生活を行うには、水、電気、ガスを最低限確保することが重要。水道については、自治会会館に井戸が掘れないか検討中。他町会で井戸を掘っているところや金額について知りたい。電気については、ガソリン発電機のためのガソリンはどの位保管できるのか。（佐藤 英哉）</p>	水道組合の方々が、万一来てて第二小学校の横の公園に打ち抜き井戸を掘っていただいた。これはお金もかからず、良いと思う。井戸の状況やガソリンの保管については調べてお知らせする。	生活安全部
41	<p><b>【緑地保全地域の雑木・倒木等について】</b> 緑地保全地域では雑木、倒木等が山にたくさん出るが、切って持って行く場所がない。公園課や多摩環境事務所に聞いても答えが出ず、そこから先に進まない。ガスに代わるものとして、震災のときにこのような保全地域に保管している木材を燃やして暖をとってもいいかどうか。（佐藤 英哉）</p>	周辺の緑地保全地域の倒木を、災害時、非常事態に薪として使用することは全く問題ないと思う。	生活安全部
42	<p><b>【公園内への暖炉の設置について】</b> 緊急時のために公園がある。私どもの地域にも公園が八つぐらいあり、その中に防災時にも使用することを含め、バーベキューコーナーや暖炉等を恒常的なものとして作っていただけないか。（佐藤 英哉）</p>	バーベキューセットは地域の皆さんでコミュニケーションのためにやってほしい。	まちなみ整備部
43	<p><b>【備蓄倉庫からの水、食料の倉出しについて】</b> 各備蓄倉庫からの水と食料の倉出しの手順を聞きたい。（橋爪 寛行）</p>	学校の防災倉庫は、避難所の開設担当の教育委員会職員が、また、独立型の大型倉庫は産業振興部職員が担当。そこから町会や自主防災の役員の方たちに協力していただき市民に物資等を供給する。	生活安全部

## 【西南部地域】

平成 17 年 6 月 4 日（横山事務所）

発言 番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
44	<p><b>【乾パンの包装について】</b> 乾パンは保存を考えるあまり、すぐに封を切れないものがある。刃物を用いず開裂性にすぐれた包装を用いてもらいたい。 (橋爪 寛行)</p>	製造元に伝え、次に購入・補充するときはそういう点で問題の無い商品を購入する努力する。	生活安全部
45	<p><b>【長房団地の道路拡幅整備促進について】</b> 都営長房団地の立て替え 2 期工事が進められているが、団地の幹線道路であるバス通りの歩道拡幅整備は、いっこうに前進しない。この 4 月以前で団地の道路拡幅整備は、「関連公共事業促進整備事業を活用し、八王子市が事業主体となり、東京都が財政負担を行うことを別途協議する」と文書によって通達されていることはご承知のことと思う。早急な整備工事の着工を都と協議し、施工を切に重ねてお願いする。東京都と協議でどこまで明確になっているのかを、具体的に回答いただきたい。 (工藤 四郎)</p>	道路整備は東京都が建物と一緒にやることになっているので、東京都で責任をもち早く整備するよう強く働きかける。関連公共施設促進事業は財政的な裏付けがなく、東京都に強い姿勢で交渉する。	道路事業部
46	<p><b>【長房第二団地の跡地利用計画について】</b> 第二団地（341 番地）の跡地利用の計画もわかれば回答いただきたい。 (工藤 四郎)</p>	まだ、東京都でまとまった計画がない。	まちづくり 計画部

発言番号	地域活動報告（発言者）	担当所管
47	<p><b>【片倉台自治会自主防災会の取り組みについて】</b></p> <p>組織はレスキュー部、救護部、消火部の3部をつくった。事務局、本部隊員、一般隊員（約115名）で組織し、各部で訓練等を行っている。自主防の活動は年1回結団式・消火訓練を行い、これまでの参加者数は延べ700人を超えた。その他、普通救命講習会をメイン行事の一つとしている。これらにより、地域の防災に対する意識が向上してきている。</p> <p style="text-align: right;">（石塚 浩保）</p>	生活安全部
48	<p><b>【北野台自治会自主防災会の取り組みについて】</b></p> <p>平成7年1月17日発生の阪神淡路大地震を機に、平成7年4月16日自治会定期総会で承認され設立。年1回の総合防災訓練の他、各種訓練を行うほか、防災倉庫や雨水貯水槽の設置、消防ポンプ購入等行う。総合防災訓練は、参加人員は270名。第1回から、中山中の生徒等も参加。自治会防災関係者は、原則全員が普通救命講習の認定書を持つ。10年の節目にあたり、防災活動のあり方を見直したい。</p> <p>今まで対応ができたのは、会員のボランティア精神の強さと活動を支える自治会費の納入による財政的支援である。今後も、防犯・交通安全・高齢者対応等とならび、防災も一つの大きい柱として取り組んでいきたい。</p> <p style="text-align: right;">（杵野 信市）</p>	生活安全部

発言番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
49	<p><b>【C級可搬ポンプの支給について】</b></p> <p>当自治会は、自主防災隊を結成し、毎年市から3万円程度の防災資器材を貸与されている。一通り資材も揃ったので、今後は、毎年続けていた資器材貸与を何年か先送りにして、C級可搬ポンプの貸与をご検討願いたい。</p> <p style="text-align: right;">（茂木 次雄）</p>	<p>C級は1台70万円。女性消防団が使用しているのがD級。これより大きいC級可搬ポンプを町会に支給するのは現実的ではない。ポンプの件については、ぜひ消防団と消防署にまかせて、それ以外のことで今後ともご協力いただき、訓練を重ねていただくほうが現実的ではないかと思う。</p>	生活安全部
50	<p><b>【小中学校プールのろ過機の点検について】</b></p> <p>ろ過機は全市の小中学校に配備されているか。また、点検等はされていると思うが、先生方は緊急時に近隣に在住していないので、できれば近隣地域の自主防関係者に使用方法の講習をしてほしい。</p> <p style="text-align: right;">（菅原 孝子）</p>	<p>ろ過機は全ての小中学校に配備している。学校職員だけではなく地域の皆さんも操作できることが望ましいので、操作方法の講習要望があればぜひ申し出てください。</p>	生活安全部

発言番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
51	<p><b>【無線設備の災害時の活用について】</b> 無線設備の点検等はされていると思うが、先生方は緊急時に近隣に在住していないので、できれば近隣地域の自主防関係者に使用方法の講習をしてほしい。 (菅原 孝子)</p>	<p>学校の無線は、被害状況や避難状況を市役所に送ることを目的にしているため、市民の方々の使用は適切でないと考えている。</p>	生活安全部
52	<p><b>【校内にある防災倉庫について】</b> 避難所に必要な物資・毛布等を保管して貰えないか（自治会では保管に限度がある）。地域と学校の連携が進められている中、「防災」も連携強化が重要と思う。 (菅原 孝子)</p>	<p>学校は、学校の周辺だけでなく非常に広い地域を対象とした備蓄倉庫と位置づけており、特定の地域の自主防災組織を対象としていないのでご理解いただきたい。</p>	生活安全部
53	<p><b>【校舎等の耐震補強工事について】</b> 避難所となる学校の耐震補強工事ほどの程度終わっているのか。(菅原 孝子)</p>	<p>学校の耐震対策については、前倒ししているが、全校完了予定は平成 29 年。校舎については、全 106 校中、調査は全校完了。対応済が 58 校。体育館については、29 校が対応済。可能な限り期間を短縮して対応したい。</p>	学校教育部
54	<p><b>【防災倉庫設置に対する補助金について】</b> 自治会は世帯が 1,650 世帯あり、9つの公園がある。そのうちの2か所に防災倉庫を設置する予定。9つ揃えるというには大変な金額がかかるので、倉庫設置に市からぜひ補助金ができればと強く要望したい。 (石塚 浩保)</p>	<p>補助金については、画一的に世帯数だけで金額を決めるやりかたは検討が必要。密度の濃い訓練や対応をしている地域に考慮しながら具体的な対応を進める。</p>	生活安全部
55	<p><b>【災害への取り組み情報の共有について】</b> タウンミーティングに参加するまで、各自治会等の災害への取り組みを知らなかった。このような素晴らしいアイデアを、各自治会に情報提供すると良いのではないかと。こういった席で初めて知るのではなく、事前に知らせる仕組みを望む。 (守下 鉄夫)</p>	<p>隣の町会の情報提供も含め、基本的には自分たちの地域は自分たちで守るという努力をしてほしい。「隣の地域ではこれだけのことをやっている」ということを声を大にして、そういう機運を盛り上げていただきたい。</p>	生活安全部

発言 番号	要望要旨 （発言者）	市長答弁要旨	担当所管
56	<p><b>【自主防災組織の立ち上げについて】</b>  災害等のことを考え、自治会内でアンケートを取りながら、立ち上げの要請をしていこうと考えている。協働の精神で、もっとみんなが取り組みやすいものを、一緒に考えてみたい。ハード的な問題は、即対応するにはお金がかかるが、ソフトの問題については、お互いに知恵を出し合って体制づくりをしていけば、自主防災組織の結成も増えてくるのでは。（阿部 義雄）</p>	<p>自主防災組織を既に検討したり作った地域から必要性を書いたひな型などをいただいで、どうすれば理解していただき易いか一緒に考え、組織率を高める努力をしたい。地域へ行き説明もする。</p>	生活安全部
57	<p><b>【ボランティア保険について】</b>  ほかのボランティアに幾つか参加しているが、ボランティア保険に全部入れている。ところが自主防災については、ボランティア保険は全くないのだというように、これも何かご検討いただければというふうに考えている。（阿部 義雄）</p>	<p>現状では、訓練は届出すれば対象になるが、自主防災組織そのものには保険の対象にならないので研究したい。全国的に公的な補償制度がないので、機会を見て、市長会などから働きかけたいので時間をいただきたい。</p>	生活安全部
58	<p><b>【支給される防災用具について】</b>  防災用品が毎年支給されるが、ブルーシートなど避難したときに利用できるものが中心。阪神大震災では、役立った道具は 1 にバール、2 にジャッキと聞いている。市からの支給を、命を救う道具にウエートを移してもらいたい。（浜崎 二三雄）</p>	<p>支給品については、必要の無いものは見直す。自主防の皆さんからご意見もいただきたい。見直しを随時行う。</p>	生活安全部
59	<p><b>【八王子バイパス料金の再検討を】</b>  打越交差点が、八王子バイパスを避けて通る大型車等により渋滞するとともに、危険である。せつかく造った道路を、利用しやすいように、料金を無料にすとか半額にすとか、再検討をお願いしたい。（高野）</p>	<p>同感だが、後 10 年ちょっとは有料である。道路公団に申し入れても簡単に解決する問題ではない。</p>	まちづくり 計画部

発言番号	地域活動報告 (発言者)	担当所管
60	<p><b>【松が谷団地自治会の防災訓練について】</b></p> <p>公社松が谷団地自治会の防災訓練は2年目という心許ない状況。ところが周りを見ると、多くの家庭が、子育ても終わり、高齢者の家庭ばかりである。いったん事が発生した時にはどのように手を打ったらよいのか考えると背筋が寒くなる。近くの高校に平日の昼間の応援をお願いしたりしているが、初心者の自治会長としては、ノウハウを一つでも入手したく、勉強中。得意技を入手せよとか、情報の入手があるが、個人情報保護法の絡みでなかなか難しさもある。 (鈴木 敏男)</p>	生活安全部
61	<p><b>【南陽台自治会防災隊の活動について】</b></p> <p>①南陽台は1,900世帯4,000名弱の人口。自治会活動の一環として、4年前に防災会が発足。自治会役員が役員を兼務し、24名で組織。防災用資機材の備蓄庫は自治会館と公園2か所の計3か所。防災隊の活動の概況は、総合防災訓練等の実施、防火特集号(会報)の発行、各種研修会等への積極的な参加、防災用施設等の配置図の住民への配付を行っている。昨年秋の総合防災訓練は、起震車、煙の体験を実施した。その他、役員は消防署の協力を得て定例的に訓練を実施している。これらの活動を毎年続けてきたことにより、今年の春、八王子消防署長から感謝状を授与された。</p> <p>②高齢化に対応し、住民同士で身の安全を確保するため、防災用資器材の使い方や訓練内容、地域内の防災手引き等のマニュアル作成が今後の課題。 (大内 昭治)</p>	生活安全部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
62	<p><b>【防災井戸の設置について】</b></p> <p>地震の際は、水道配管は破壊され、飲料水は供給できなくなる。飲料水確保対策として、地域に手動汲み上げ方式の井戸を掘ることを提案したい。具体的には、私が住む堀之内三丁目において、番場公園(市立)に井戸を設置してほしい。 (塩谷 暢生)</p>	<p>八王子には井戸はたくさんあるが、飲料水に適する水質の井戸はほとんど無い。3日間分を各家庭で備えていただければ、由木地区には貯水槽も3つあり、全ての小中学校のプールにはろ過機があるのでご理解いただきたい。</p>	生活安全部
63	<p><b>【橋下居住者対策について】</b></p> <p>大栗川の不法な橋下居住者は、付近住民に不安感を与えているだけでなく、大雨時には、持ち込まれている自転車・家具などが流出して危険でもある。具体的には、大栗川の番場橋および大竹橋下の居住者について、家具等を撤去し、住めないようにしていただきたい。 (塩谷 暢生)</p>	<p>河川管理者である国土交通省や東京都も対応に非常に困っている。多摩川水系だけで800人いる。市でも5月と7月に現場を確認している。警察とも連絡をとりながら説得をしているが良い結果が出ない。移動させたとしても、公園等他の場所に移るだけで解決策にならない。</p>	道路事業部



【東部地域】

平成 17 年 7 月 16 日（由木東市民センター）

発言 番号	要望要旨 （発言者）	市長答弁要旨	担当所管
64	<p><b>【防災準備品の内容を広報に掲載して】</b> 地震が起きたときのため、日頃から防災に関心を持ち、地域ぐるみで訓練が必要。市と住民それぞれの役割を明確にすると良いと思う。市が発行した防災ガイドに載っているぜひとも準備しなければならない物をボランティアや市職員が実際準備して、その内容を広報に掲載してほしい。 (白水 嘉奈子)</p>	<p>地域での助け合いとして、自主防災組織をつくることをお願いしている。自助と共助の部分は大切である。</p>	生活安全部
65	<p><b>【避難や連絡方法の広報掲載について】</b> 避難方法や連絡方法の体験談を広報に掲載してほしい。 (白水 嘉奈子)</p>	<p>各家庭の環境に合わせた避難用具を用意し、避難ルート等も考えておくことは重要だと思う。</p>	生活安全部
66	<p><b>【生活用水確保のため、井戸や浄水器の確保を】</b> 水（飲料水）が1日3リットル必要。生活用水、トイレの水等の確保のため、市が井戸や浄水器を準備してほしい。 (白水 嘉奈子)</p>	<p>飲料水については、貯水槽で市民の方々の3日間分は十分に備えている。また、各学校にプール水のろ過器を備え付けている。</p>	生活安全部
67	<p><b>【エコトイレ等について】</b> 災害時に備え、エコトイレ、バイオトイレはどうか。 (白水 嘉奈子)</p>	<p>中越地震の例を見ても、トイレは大事なことだと思う。下水のマンホールの蓋をはずして取り付ける簡易トイレというのも良い方法である。災害用仮設トイレは400基整備する。</p>	生活安全部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
68	<p><b>【防災キャンプについて】</b></p> <p>「夢あるまちづくり協議会」は本年度、市民企画事業補助金制度の交付を受け、「防災キャンプ：擬似避難体験」を企画している。また、多摩ニュータウンは平日の昼間、お年寄り子どもばかりとなるため、松が谷中学校の生徒の協力をお願いしたいと考えている。そこで以下の項目に市長のご意見をいただきたい。①市民がこのような訓練をする際に市として提供できる材料(マニュアル等)及び協働できる具体的なことはあるか。②市としては災害時(訓練も含む)に市民や自治会(町会)に求めることは何か。③当協議会のようなボランティア活動に関してどう考えるか。</p> <p>(沼澤 仁)</p>	<p>①マニュアル等は、自主防災活動マニュアル、避難所運営マニュアル等がある。また、備蓄用の非常食、乾パン等、資器材の助成、ろ過器の使用説明等の支援をさせていただく。消防署との連携のお手伝いもする。</p> <p>②市民個人に対しては自分や家族のことを、自治会、町会等隣近所には体の不自由なお年寄りの救出・救助についてお互いに助け合いをお願いしたい。</p> <p>③ボランティア活動は大変大事なこと。ボランティア活動に十分力を発揮していただけるように対応する行政の体制をどのようにつくるかが課題だ。</p>	生活安全部
69	<p><b>【学校開放運営事業の継続と地域の防災力向上について】</b></p> <p>由木地区には体力づくりという地域に根付いた素晴らしい組織があり、これをいざと言う時の防災力に加えれば、地域の団結力も増すと考える。ところが、昨年暮れ頃、総合型地域スポーツクラブが打ち出され、由木地区が昭和 44 年以來行ってきた学校開放運営事業が、平成 18 年度をもって廃止されるとのことだが、由木地区においては、学校開放運営事業を継続させ、新旧住民の融和を図るとともに、いざと言う時の防災力に活用させると良いのではないかと提案する。</p> <p>(木下 充生)</p>	<p>体力づくり運動は、長い歴史をもち、非常に活発に活動していただいていることは承知しており、敬意を表したい。総合型地域スポーツクラブは国の方針。今までの体力づくりを否定するものではなく、今までの活動をさらに拡大していこうということが柱の一つであると認識しているので、良い方向へ進めていきたい。</p>	生涯学習スポーツ部

発言番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
70	<p><b>【学校開放運営事業の継続について】</b> 平成 15 年 9 月に行われたスポーツ振興基本計画では、概ね 10 年でやっていくとの説明。ところが、去年の暮れから突然、体力づくりの予算が 18 年度はゼロとの発表があった。何かあった時は、段階的に減らしていくような温情ある市政をやっていただきたい。各地区によってみんな状況がちがう。そのようなことを考慮して、来年度予算でお願いしたい。</p> <p>（小谷田 福太郎）</p>	<p>ご理解いただけるような適切な説明が不足していると思うので、良く調べてみる。</p>	生涯学習スポーツ部
71	<p><b>【地域の防災力を高めるために】</b> ①町内会や管理組合の防災市民組織は、メンバーの交替などで活動が形骸化している。そのために、消防組織法第 15 条による条例にての消防団に準じる、防災団（仮称）の設立を検討願いたい。一つは、即戦力となる成人男子の構成、第 2 のパターンとして、女性、高齢者及び中学生による組織体制作りを提案したい。若者たちに、地域の一員であることや地域愛の自覚にも繋がると考える。</p> <p>（中村 史朗）</p>	<p>自主防災組織が形骸化しているとのお話について、毎年同じような訓練を行っているということかと思うが、何回も繰り返しやらないと万が一のときに有効に機能しないと思っている。地域の特色を活かした取り組みをしているところもある。防災団をつくるつもりはなく、それよりも、地域に合わせた活動をする自主防災組織の組織率を高めていくことが大事。また、八王子の消防団は全国でも有数の消防団であり、大事にしていきたいのでご理解いただきたい。</p>	生活安全部
72	<p><b>【中学生に防災のカリキュラムを】</b> 中学生のカリキュラムの中に、消防署から派遣をして、AED の扱い方、人工呼吸・心臓マッサージのやり方等伝授していくことはどうか。</p> <p>（中村 史朗）</p>	<p>良い取り組みだと思うので、教育委員会とも相談し、取り組めるところは積極的に取り組みたい。</p>	学校教育部
73	<p><b>【歩道（坂道）での自転車走行について】</b> 民生児童委員をしているので地域の方からの要望として発言する。近頃坂道（歩道）を脱兎のごとく走り下りる自転車が多いので危険である。障害者に限らず、ジョギングや散歩をしている高齢者など誰にでもやさしい街づくりとして、何らかの配慮をお願いする。</p> <p>（坂本 睦枝）</p>	<p>一番の問題はマナーである。昨年、川口小学校で、自転車の運転講習会を行い、試験に受かると自転車運転免許証を発行するというところを行った。17 年度は 16 校。小学生あたりから自転車の乗り方を教育の中で教えていくことが大事なことと思うので、この運動をもう少し広げていきたい。</p>	道路事業部

【東部地域】

平成 17 年 7 月 16 日（由木東市民センター）

発言 番号	要望要旨 （発言者）	市長答弁要旨	担当所管
74	<p>【街路樹に剪定について】</p> <p>柏木小学校から南大沢二丁目に抜ける歩道が夜暗い。緑が豊かで大変結構だが、その分夜間が物騒なので街灯を増やしてほしいと要望した。すると、桂並木を3本切ってしまった。これ以上暗いと言うと、また切られるのかと思う。大変乱暴な処置であると思う。 （下村 憲治）</p>	<p>その処置は適切でなかったと思う。よく調べて現地を確認する。</p>	<p>道路事業部</p>

発言番号	地域活動報告（発言者）	担当所管
75	<p><b>【元横山町第二町会の防災活動について】</b></p> <p>いつ起こるか分からない災害と、いつ起きてもおかしくない災害に対し、元横山町第二町会の防災訓練は、役員の組織図に沿った配置・集合、避難場所での町民の無事の確認、けが人、お年寄り、障害者、子ども、取り残された人の救護等、災害時に生かされるよう心がけて訓練を続けてきたが、参加者減少のため、現在は、元横地区連合で合同して、炊き出し訓練や救護訓練等、大掛かりな訓練を実施している。</p> <p style="text-align: right;">（秋間 利久）</p>	生活安全部
76	<p><b>【新町町会の防災活動について】</b></p> <p>① 新町町会は、440 世帯が生活しているが、70%が古くから住んでおり、30%が新しく出来たマンション住民。隣近所のコミュニケーションは良好だが、情報・伝達をさらに良くなるよう努力したい。</p> <p>② 八王子駅北口は、歩道等の整備が進められていて感謝。誰もが安全・安心に避難することができるように、整備を引き続きお願いしたい。</p> <p>③ 町会で防災倉庫を設置し、災害用の市からの備品を備蓄し始めた。</p> <p>④ 防災訓練を、避難場所が同じ明神町 4 町会と合同で、今年 5 月に第 4 小学校で実施した。大いに成果があった。</p> <p style="text-align: right;">（檜山 茂）</p>	生活安全部

発言番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
77	<p><b>【組織規模に応じた、体系的な水の確保の推進について】</b></p> <p>以下の 3 点について要望する。</p> <p>①組織規模に応じた対策と啓発 （市）河川利用対策 （工場や大学）浄化可能なプールや大規模雨水タンク並びに管理者の設置 （マンション）戸数に応じた貯水槽 （個人）ポリタンク貯水 （啓蒙活動）公共施設での展示、実践</p> <p>②道具への補助金、条例の整備 個人用のタンク、浄化設備等に対する補助。ISO9000, 14000 の活用</p> <p>③デモの場として公共施設の活用 自家発電設備、雨水タンク等の展示</p> <p style="text-align: right;">（飯田 康夫）</p>	<p>①水の確保については、市でも積極的に取り組んでいる。市民の方々が生存していくための水は常に 72 日分は用意をしている。また、中水用水として深井戸を持つ 37 の事業所と協定をしている。ただし、準備時間として 3 日分は各家庭で備えていただけたら安心である。</p> <p>②道具への補助については、自主防災組織に対し、用具の提供、更新をしている。</p> <p>③デモについてはご提案として聞かせていただいた。</p>	生活安全部
78	<p><b>【聴覚障害者の防災対策について①】</b></p> <p>声が出せない人や、高齢者、社会的弱者へ防災笛を無料で配布してほしい。大声で周りの人に状況を教えられないので、笛で知らせれば救助してもらえ。災害対策のパンフレットに障害者対策を載せてほしい。</p> <p style="text-align: right;">（村下 益子）</p>	<p>笛は 80～100 円ちょっとで十分大きな音がするものが買えるので、買っていただけないかと思ったが、もっと違うようなものがあるのか。パンフレットについてはご指摘のような欠けている面について考えて見たい。</p>	生活安全部

発言番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
79	<p><b>【聴覚障害者の防災対策について②】</b> 住民に避難勧告が出されると同時に、聴覚障害者に対しては、ファックスや携帯電話のメールによる緊急連絡が一斉に流されるような緊急連絡体制を備えてほしい。最近、ほかの地域では、いろいろ体制も整っているようだ。（青田 一良）</p>	登録制で市民へのメールによる緊急連絡を今検討しているので少し時間をいただきたい。	生活安全部
80	<p><b>【聴覚障害者の防災対策について③】</b> 聴覚障害者用の広域避難所を設定してほしい。避難所には、字幕入りのテレビやFAXなどの連絡体制を常備してほしい。（定舎多恵子）</p>	聴覚障害者用の広域避難所の設定は現実に難しいと思う。一時避難所の小・中学校にファックスは備わっている。二次的な避難場所として市内4つの養護学校との協定がある。東京都の福祉園とも協議中。皆さんの意見を聞きながら体制づくりに努力する。	生活安全部
81	<p><b>【市の年間防災計画について】</b> 市の年間防災計画の中に市民参加ができる（防災訓練）等を取り入れてほしい。（大垣 節子）</p>	毎年、市民参加で行っている防災訓練がある。これは今まで広報等あらゆる手段でお知らせしている。自主防災組織というのがあり、元八や恩方などの地域の防災訓練は非常に積極的。	生活安全部
82	<p><b>【泉町の防災について】</b> 泉町の土地柄にあった防災計画を立ててほしい。近くに北浅川があるため、液状化現象が心配である。電柱が個人の住宅の敷地内に建っている所が多く、液状化により倒壊しないか不安である。防災計画を立てるにあたっては、実際に現地を見てほしい。 防災マップに井戸の所在も書いてはどうか。地層についてはどこに聞けばよいか。（大垣 節子）</p>	東京都の被害想定に関する報告書によると、液状化については、一部にそういう恐れがあるところがあるが、その他は八王子では起こらないと想定されている。井戸については、マップへの詳しい記載は、スペース的に難しいので、防災課に問い合わせてほしい。地層の安全については答えられるところは無いが、建物の耐震調査については、建築士協会と提携しており、広報にも掲載するので見てほしい。	生活安全部
83	<p><b>【備蓄品について】</b> 小物の備蓄品について・・・乾パン等のほかに、ミルク・お粥・生理用品等の備蓄が必要だと考えるが、市の考えは。（秋間 利久）</p>	小物の備蓄については、十分ではないが、市として防災倉庫に備蓄を進めている。ミルクは長く保存できないため、大手スーパーと提携を結び、提供していただく体制はできている。	生活安全部

発言番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
84	<p><b>【非常食等のストック品の提供について】</b>  災害時に救護隊が到着するまでの約 3 日間の間に、非常食（例えばアルファ米とか乾パンとか、飲料水のストック品）を提供していただければありがたいと思う。各町会に、そういうストック場所があるところには、備蓄としてストック品を提供していただけないか。  （秋間 利久）</p>	<p>町会中心の自主防の倉庫で備えるものと、もう少し広範囲で備蓄しなければならないものと両方あると思う。自主防災組織の組織率は 40%程度であるため、自主防の倉庫への備蓄だけでは十分とはいえない。市としては広範囲の避難場所となる小・中学校 106 校に防災倉庫を整備し、一定広範囲の規模での備蓄をしている。</p>	生活安全部
85	<p><b>【防災についての関心度について】</b>  元本郷町会は、単独で訓練を行い 300 人程度の参加者であった。昨年は、近隣合同（3 町会）で防災訓練を行い、市役所駐車場で 450 人の参加があった。訓練に参加して、実際に体験をすることは大事なこと。そこで、各町会のなかでは、防災に対してどのくらい関心度があるのか。例えば、どれくらいの町会が防災訓練を実施したか。  （菅沼 昭次）</p>	<p>520 ある町会、自治会のうち約 4 割で自主防災組織ができており、その地域は毎年大体訓練をやっている。</p>	生活安全部
86	<p><b>【災害時の連絡方法について】</b>  災害時に、一斉に電話等を使用したら、パンクしてしまうのではないかと。通信手段が使えなくなるのではないかと。代案を考える必要があるのではないかと。  （須崎 進）</p>	<p>特に耳等に障害のある方はどういうふうにしたら一番良いのかということも含めて今検討している。</p>	生活安全部
87	<p><b>【防災の日の設置について】</b>  1 年に 1 回、防災の日を定めたらどうか。その日は、軽飛行機を使い空から市内全域・全市民に広報する。その際、水や食料の備蓄を訴えたらどうか。毎年やっていたら、市民の意識も高まると思う。  （しま じろう）</p>	<p>防災の日には行っていないが、阪神淡路大震災に合わせて毎年 1 月に防災の講演会を実施しており、関東大震災に因んで 9 月から 10 月にかけて防災訓練を行っている。軽飛行機ではお金もかかるので、防災総合無線を活用する。</p>	生活安全部
88	<p><b>【災害時の銭湯有効利用について】</b>  仙台沖地震で経験したことは、2 週間ガスが止まり、電気のない漆黒の世界であった。その時に、銭湯が非常に役立った。市も銭湯の有効利用を考えたらどうか。  （新井 茂夫）</p>	<p>銭湯の活用は浴場組合もあり、当然公共性もあり活用を考えたい。</p>	生活安全部

## 【中央地域】

平成 17 年 7 月 23 日（市役所本庁舎）

発言 番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
89	<p><b>【災害時の来街者の対応について】</b> 八王子駅周辺には来街者が大勢いるが、その人たちの保護についての市の考えは。また、マニュアル等があるのであれば、町会にお配りいただきたい。（佐藤 邦彦）</p>	<p>市民と来街者の取り扱いに特別に差はないので来街者保護のマニュアルはない。来街者の避難を職員がリードする体制はある。J R 八王子駅前の場合、地下駐車場を活用することを前提に今考えている。</p>	生活安全部
90	<p><b>【他市との災害時の協力について】</b> 近隣の市町村等との協力体制は。（佐藤 邦彦）</p>	<p>東京都内だけでなく、川越や遠いところでは北海道の方まで、十分な相互支援体制を作っている。</p>	生活安全部
91	<p><b>【自衛隊の派遣要請について】</b> 八王子市に直下型地震が起きた場合には、大変な災害が予想されるが、市ではどの時点で自衛隊の派遣要請をするのか。（佐藤 邦彦）</p>	<p>自衛隊の派遣要請については、大きな災害、被害が発生したときは即座に、要請する。自衛隊へは都知事が要請する。市は都知事に要請する。</p>	生活安全部

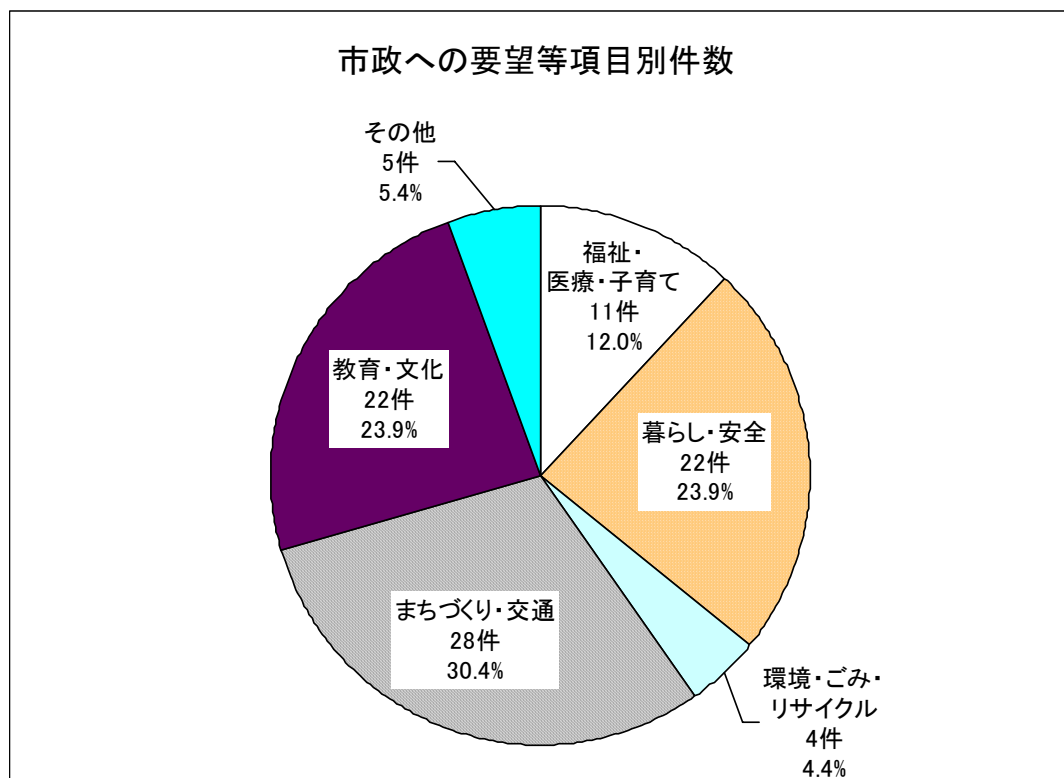


## 6. 過去の提案等取り組み状況

### 平成16年度“タウンミーティング「市長と語る」”提案等取り組み状況

テーマ みんなでつくる安全なまち八王子 ～地域ぐるみで育む子どもたち  
各会場の実績

開催日	会場	地域	地区	参加者数 (人)	発言者数 (人)	発言項目数 (件)
5月15日	市役所本庁舎	中央	本庁	112	8	18
5月22日	川口市民センター	西部	元八王子 恩方 川口	141	8	11
5月29日	横山南市民センター	西南部	浅川 横山 館	116	10	16
6月5日	柏木小学校	東部	由木 由木東 南大沢	99	9	17
6月26日	由井市民センター	東南部	由井 北野	74	7	17
7月3日	石川市民センター	北部	加住 石川	97	9	13
			合計	639	51	92



ご意見・ご提案をいただいたその後の取り組み状況の一例をご報告すると……

平成16年5月15日・市役所本庁舎【中央地域】

＜意見＞ 社員の出退勤の時間帯が登・下校時間帯と合う企業に参加してもらい、交代で腕章を付けて通学路等を歩いてもらう学校安全ボランティア企業市民制度をつくってはどうか。  
(小山 好昭 様)

＜市長＞ 実際にやっているということでもあり、可能性がある。みんなが地域を見守っているという姿勢が一番大事なことだと思う。いいことを提案してもらった。機会を見て企業にお願いしてみたい。

【対応】 児童・生徒を狙った不審者による事件が多発している昨今、地域が一体となり子どもたちを見守っていくことが大変重要と考えている。一方、市内には、子どもたちや地域のために役立ちたいと考えている企業が多く存在すると考えられ、企業訪問の際に話を伺うと、道路や河川の清掃、仕事体験の受け入れなど、さまざまな社会貢献をいただいている。実態としては、社員が10人から数十人の中小企業が大部分であり、通勤時間と通学時間がずれていたり、自動車通勤が多かったり、通学と通勤が一致する企業が少ないなどの状況があるが、企業訪問は今後も継続していくので、条件が合致する企業であれば、今後も機会を見て依頼をしていきたい。

＜意見＞ バリアフリーの問題として、駅に至る道に、高齢や病気であまり歩けない人が休むための椅子を設置してほしい。商店会の方が置いてくれるのもよいと思う。  
(中村 一男 様)

＜市長＞ バリアフリーへの配慮として、一定の距離に椅子があると便利である。高齢社会に近づいており、高齢者の社会参加のためにも大事であるので検討してみたい。

【対応】 西放射線ユーロードについては、都市の中の安らぎや憩いをもたらす、より利用しやすい街路空間への転身を図るため、昨年度地元商店街の方とともにリニューアル整備計画を策定した。その中で、ユーロードにある3ヶ所の公園（西放射線三崎町公園、西放射線中町公園、西放射線横山町公園）について、街に来られた方々が休憩できる空間として利用できるよう、老朽化した既存のベンチの改修と新設を、平成17年度に行うこととしている。

- ・ 西放射線三崎町公園：老朽化したサークルベンチの改修
- ・ 西放射線中町公園：ベンチの新設
- ・ 西放射線横山町公園（八日町交差点）：老朽化したサークルベンチの改修

平成16年5月22日・川口市民センター【西部地域】

＜意見＞ 上川トンネルからくる車や美山方面から戸沢峠を越えてきた車が、秋川街道の渋滞を避けて農道に入ってくる。子どもや老人が危険にさらされており、戸沢峠から上川トンネルへの貫通促進等の対策も含めて対策を進めてもらいたい。（石橋 亨 様）

《市長》 ハンプ、通行時間規制、一方通行等の対策は地域の皆さんの同意が必要。警察とも協議中なので、もう少し時間がほしい。根本的にはクランクの解消であり、東京都に強く要請しているが、すぐには解決できないのでそれまでの安全対策を考える。

【対応】 ご指摘の危険箇所については、八王子警察署も現場を認知し、警視庁本部に上申中。都道管理者にも働きかけ、戸沢峠から秋川街道を横断する道の早急な整備を働きかけている。

クランク交差点である上川橋交差点での美山方向への右折車両による交通渋滞が原因で、地元の生活道路への通過交通の進入などの問題を引き起こしている。このことから、東京都に対し、上川橋交差点の右折レーン設置に関して早急な整備が図られるよう要請する中で、東京都からは右折レーン設置に関して、平成17年度に新たに選定された交差点改良事業「第2次交差点すいすいプラン（平成17年から26年）」に上川橋交差点を位置付けたと聞いている。市としても、地域住民の安全と利便性向上のため、早期整備を東京都に働きかける。

クランク解消のため、主要地方道61号山田宮の前線の戸沢峠から秋川街道を経由せずに直進する新ルート構想の整備については、東京都に働きかけている。

＜意見＞ 子どもたちの自転車運転のマナーが悪い。自転車安全教室を各小学校で開き、学科と実技の試験を行い「自転車運転免許証」を発行することを提案する。既に取り組んでいる行政では、自転車による事故が激減したと聞いている。（山下 房次 様）

《市長》 荒川区で行っているのは承知している。本市では、清川と東浅川に交通公園があり、交通安全教育指導員が学校へ出向くなどして「自転車の乗り方教室」等を実施している。公共交通機関が十分でない地域では、自転車の利用率も高いと思うので、検討してみたい。

【対応】 ご提案を受け、平成16年度、「自転車安全運転免許証」を発行するため、自転車安全運転教室を試行的に2校で実施した。11月29日に川口小学校の三年生73名、12月1日に元木小学校の三年生55名に免許証、修了書を発行した。

平成17年度は、交通事業課と教育委員会が協同して本格実施をし、市内18校から自転車安全運転免許証のための自転車安全運転教室の希望が出ており、将来的には、全小学校68校に広げていきたいと考えている。(5月12日現在では、小学校6校で終了し、385名に免許証を交付している。)

なお、自転車安全運転教室実施には、警察・交通安全協会等が協力、連携して円滑に進めることができた。

平成16年5月29日・横山南市民センター【西南部地域】

＜意見＞ 地域の一人ひとりが身近にある問題を一緒に考え、気持ちよく助け合える地域にして次の世代に渡せたらと思ひ、その手がかりとして、公園アドプト制度を利用させていただいている。活動を通じて少しずつ足がかりを見つけ、気がついたら、小さな子からお年寄りまで一同に会している、そんな夢を描いている。(小嶋 紀子 様)

＜市長＞ 地域の皆さんに公園を大事にさせていただこう、そして、管理もさせていただこうということでアドプト制度を始めた。是非、これが広がっていくように願っている。また、公園へのトイレ設置も年に1、2箇所となかなか要望に応えられなかったが、管理をしていただくことで増やすことも考えられる。

【対応】 市民の皆さんの夢の実現のために可能な限り支援したい。

公園アドプトを初めとした公共施設アドプト制度は、市民の皆さんの自由な意思と責任、そして何よりも自らのまちを大切にするという温かい愛情に基づき清掃や美化活動を行うことにより、地域の人々の「顔が見え」、地域の自然・景観・伝統・文化などを「共有する」ことができ、豊かな地域コミュニティが育まれると考え実施した制度である。本制度が、地域コミュニティの活性化という意味からも、地域の皆さんにご参加いただき、市内全域に広がるよう、引き続きPRに努めていく。

＜意見＞ 残念なことに高尾山学園の理解があまりされていない。何か変わった学校ができたというイメージでとらえている方も地域にはいる。地域に対して、もう少しPRの仕方があったらよかったのではないかと。（黒沢 栄 様）

＜市長＞ 地域に対して、周知が足りなかったとしたら、大変申し訳なく思っている。これからも、いろいろな機会をみて、皆さんに理解していただき、応援していただける学校にしていきたい。

【対応】 地域に対して高尾山学園へのより深い理解を得ることは、課題の一つであり、そのために何を発信していくべきか検討している。現状での地域との連携は次のようなものである。①地域の行事に参加する。（青少年対策地区委員会のマラソン大会に参加）地域清掃にも参加予定である。②地元のパン屋さん・保育園に体験学習として定期的に通わせていただく予定である。③地元の老人ホームに体験講座として訪問している。④学校評議委員に地元の方が3～4名入っている。⑤5月より校庭・体育館の週末の利用開放を地域のクラブ・サークルにはじめた。引き続き、地域との地道な関係作りを重ねて、理解を促進しなければならないと考えている。

平成16年6月5日・柏木小学校体育館【東部地域】

＜意見＞ 毎年、業者が立ち木の伐採や植え込みの刈り込みをしているが、時期を見直し、一過性でなく、計画的に実施してほしい。特に通学路や防犯上危険と思われる地域を、夏休み中に是非やってほしい。（淡路 二正 様）

＜市長＞ 予算等の関係で、刈り込みの回数が減っている部分もあると思うが、おっしゃられたことは当然だと思うので、現地をよく見て夏休み中に実施する。公園の低木の刈り込みや歩道の草刈り等は、ご協力いただきたい。

【対応】 6月2日に要望者と現地立会い、街路樹の刈り込み等、要望事項を確認した。6月11日から11月末にかけ、要望内容に沿った作業を終了した。

公園・緑地の維持管理は、造園業者に年間管理委託をしている中で定期的に刈り込み等の管理を行っているほか、安全・安心等の観点から随時剪定等を行っている。お気づきの点があれば、ご連絡いただきたい。

＜意見＞ 八王子市はすごく歴史が古い。千人同心のことなど、八王子の歴史を学校の先生方に教えていただくと、子どもたちがいいまちだと感じると思う。

(白水 嘉奈子 様)

＜市長＞ 八王子には、すぐれた歴史遺産や地域の文化がある。それらを知ることは、ふるさと意識を持っていただくために非常に重要なことだと思っている。八王子の歴史を知っている教員ばかりではないので、サタデースクール等を活用していただき、地域の先輩の皆さんから教えてもらい、地域の教育力、地域の人材を活かしていただきたい。

【対応】 各小中学校では、地域の歴史や文化に関する学習を、社会科や総合的な学習の時間を通して行っている。今後は、さらに地域の方々に講師に招くなど、さまざまな協力を得ながら子どもたちが郷土を愛する心を育む教育を推進していく。

学校の先生や歴史・文化に詳しい地域の方々の総合的な時間での活用による八王子の優れた歴史・文化の伝達も、子どもたちへの八王子を知ってもらう大きな手段ではある。サタデースクールでの地域の歴史や文化を知るための取り組みや大人の方々への知る機会の拡充が、子どもたちへの歴史・文化を伝えていく方法として有効と考えており、今後とも出前講座での八王子市の歴史・文化についての講座の拡充や公民館講座としての実施などに努めていく。

平成16年6月26日・由井市民センター【東南部地域】

＜意見＞ あいさつができない大人が増えているせいか、子どもにあいさつの大切さが十分認識されていない気がする。地域の大人たちが、登下校の子どもたちの姿を見かけたら、「行ってらっしゃい」、「おかえりなさい」と声をかけることが大切だと思う。

(木田 博幸 様)

＜市長＞ あいさつ運動は、大賛成である。最近はいいさつができない大人が多くなった。やはり教育のせいだと思う。防犯という観点からも、あいさつは大事なことである。八王子は、みんながあいさつできるようなまちにしたい。

【対応】 学校を通じて、児童生徒に「あいさつ」の意義を周知している。また、防犯の効果もあることから、学校に係る地域のボランティアの方々に、児童生徒に対して「あいさつ」や声かけを積極的にしていただくようお願いしている。

八王子市青少年健全育成基本方針の平成17年度重点目標を「元気なあいさつで心のふれあいを」に決定。パンフレットを作成し、市内の児童、生徒、関係機関に配付した。(平

成 17 年 5 月)

また、毎年、青少年健全育成推進区域が中学校区域で二地区指定される。その二地区に事業委託を行う中で、あいさつ運動を取り入れている。なお、市内 36 地区の青少年対策地区委員会では、独自にあいさつ運動に取り組んでいる地区委員会がある。

地域の防犯対策とコミュニティの活性化のため町会などにパトロール腕章を配布して防犯活動の支援している。あいさつを交わすことは、犯罪抑止のためには大切であることから、あいさつ運動(仮称)を地域に普及させるなど啓発活動を実施していきたい。

＜意見＞ 子どもたちのために、地域で個人的にできることは何かという問題意識を持ってやっている。あいている時間に子ども家庭支援センターで、お子さんの面倒を見ることをさせていただきたい。  
(遠藤 篤子 様)

《市長》 お気持ちはすごくありがたい。今の段階でどういうお手伝いをいただけるかは分からないが、そういうお話をいただいたことは頭に入れておくので、何かでお役に立っていただきたい。

【対応】 子ども家庭支援センターが平成 16 年 10 月 25 日にクリエイトホールに開設され、子育て相談センターが地域子ども家庭支援センターみなみ野に生まれ変わった。今後、平成 17 年度に 2 館・18 年度に 2 館開設し、合計 5 館の地域子ども家庭支援センターを開設していく。

ボランティア相談員は、子ども家庭支援センターで毎週日曜日の午前 10 時から正午まで、小児科医師・歯科医師・薬剤師・栄養士の方が交代で子育てひろばに来ていただき、来館者の相談に応じている。17 年度以降もボランティアの協力を頂き継続していく。

一般の方のボランティアについては、子ども家庭支援センターでは募集により 3 名の応募があり、現在 2 名がリトミックや工作の指導などの活動をしていただいている。地域子ども家庭センターみなみ野では、現在 16 名のボランティア登録があり、親子ふれあいひろばの補助や学習会の時の託児などの活動をしていただいているが、引き続き募集をしていく。

＜意見＞ 私たち里親は、当たり前暮らしや幸せを子どもたちに味わってほしいという思いで、家庭を提供している。養子縁組を前提としない里親の家庭が八王子にもあるということを知っていただき、仲間になっていただきたい。少数派のため学校、保育園、医療機関等で厳しい思いをしている。理解をしていただきたい。  
(坂本 洋子 様)

＜市長＞ 一番のご苦勞は、世間の理解の足りなさという話を伺って、それはいけないと思い、正しく理解をしていただくため、市民の皆さんにいろいろな機会にお話をする努力をしている。

【対応】 平成16年度は「里親ホッとサロン」を9回実施し、合計236名の方に参加していただいた。また、東京都が作成した「養育家庭制度」のポスター掲示やリーフレットを市民向けに配布し、広報「はちおうじ」に養育家庭制度の紹介や養育家庭募集の記事を2回に掲載した。平成16年10月28日には、クリエイトホールで「養育家庭体験発表会」を開催し、169名の方の参加があり、平成17年3月11日には地域こども家庭支援センターみなみ野で、「養育家庭ミニ体験発表会」を開催し62名の方に参加していただいた。

平成17年度以降もこのような取り組みを継続し、養育家庭制度を普及していく計画である。

＜意見＞ 捨て看板防止条例の重点区域に指定された市内中心部は、地元や市職員のおかげでかなり効果が上がっているようだが、重点区域外の幹線道路沿いは、チラシや看板が無法地帯のように貼ってあり、目に余るものがある。早急な重点区域の拡大と徹底した取り締まりを強く願います。  
(尾崎 勉 様)

＜市長＞ 確かに重点区域は、大勢の皆さんのご協力によりなくなってきた。重点区域を増やすのか、あるいは市全域に拡大できるのか研究をする。

【対応】 平成17年3月に「東京都屋外広告物条例」が改正され、10月から施行される。簡易除去の対象広告物が拡大され、従来の捨て看板（立て看板・はり札・はり紙）に、広告旗（のぼり旗）が追加された。

新たに加えられた広告旗に対する対策とともに、重点区域の拡大について検討している。



## 7. 会場配布資料

平成17年度“タウンミーティング「市長と語る」”資料

### まちに活力、市民ニーズに的確に対応

市は、皆さんが元気に暮らしていける安全・安心なまちの実現に向けて、さまざまな施策を展開しています。市が目標とするまちづくりの基盤となっているのが、市の予算です。

平成17年度の予算は、厳しい社会情勢の中、まちの活力を取り戻し市民ニーズに的確に応えることを基本に、限られた財源を有効に活用し、「八王子ゆめおりプラン」の都市像に沿って設定した重点7項目を具体化する施策を展開していきます。

- ◆ 教育環境の充実
- ◆ 都市の再生
- ◆ 子育て支援
- ◆ 安全・安心な市民生活の確保
- ◆ 健康・医療、福祉施策の充実
- ◆ みどり・環境の保全
- ◆ 地域産業の振興

#### 17年度予算の概要

平成17年度予算総額は、一般会計で1,542億円。前年度に比べ5.3%、87億円の減となりました。これは、16年度に一括償還を迎えた減税補てん債125億1,200万円が減額になったことが主な理由です。この金額を除いた予算規模は、前年度に比べて38億1,200万円、実質2.5%の増となっています。

また、国民健康保険事業など8つの特別会計は、前年度に比べて全体で2.3%、35億7,100万円増の1,618億7,700万円となりました。これは、受託水道事業・下水道事業などで減額となったものの、国民健康保険事業・介護保険・老人保健・土地取得事業の各事業の会計が増加したことによるものです。

こうしたことから、平成17年度の予算総額は、前年度に比べ1.6%、51億2,900万円減の3,160億7,700万円となりました。

### 平成17年度の主な事業

基本計画・基本構想「ゆめおりプラン」の都市像に沿って設定した、平成17年度の主な事業を紹介します。

(◎は新規事業、◇はレベルアップなどを図る事業です。)

#### 1. 教育環境の充実

- ◎ フットサルコート（テニスコート兼用）整備 9,000万円

富士森公園内の市民プール跡地に、1年を通じて利用できる人工芝のフットサルコート

(テニスコート兼用)を整備します。

- ◎ **総合型地域スポーツクラブ設立援助** **1,175 万円**  
小学校の余裕教室を改修してクラブハウスを設置するなど、16年度に策定した「スポーツ振興基本計画」に基づき、皆さんの自発的な生涯スポーツ活動の核となる「総合型地域スポーツクラブ」の設立を支援します。
- ◎ **こどもの安全対策** **1,000 万円**  
学校の安全管理のため、防犯カメラなどを設置します。

#### その他の事業

- ◎ トイレ改修・普通教室扇風機設置…1億9,000万円 ◇小・中学校の地震防災対策（耐震補強）…3億3,630万円など

## 2. 都市の再生

- ◇ **八王子駅南口地区市街地再開発** **4億7,857万円**  
再開発組合が実施する市街地再開発事業の補助や公共施設の整備に必要な設計を行います。
- ◇ **道の駅整備** **3億6,250万円**  
平成18年度中の開設に向けて用地の取得と造成工事を行います。
- ◇ **西放射線ユーロードの整備** **1,500万円**  
西放射線ユーロードの老朽化した施設や植栽などのリニューアル整備を実施します。
- ◇ **高尾駅周辺の整備** **800万円**  
観光、交通の拠点である高尾駅周辺の整備に向けて基本計画を策定します。

#### その他の事業

- ◇まちづくり条例制定準備経費…350万円 ◇浅川サイクルロード整備第2ステージの調査費…200万円など

## 3. 子育て支援

- ◇ **地域子ども家庭支援センターの開設** **3,598万円**  
既存の施設を改修し、南大沢・由木地域と元八王子・川口・恩方地域の2か所に地域子ども家庭支援センターを開設します。
- ◇ **学童保育所施設整備** **6,200万円**  
東浅川小、由木東小、梶田小に学童保育所を整備します。

## その他の事業

◇保育サービスの充実…103億876万円など

### 4. 安全・安心な市民生活の確保

- ◎ 災害用仮設トイレの整備 1,600万円  
平成17～21年度の5年間で400基を整備。17年度は80基を整備します。
- ◎ 転倒防止金具の配布 700万円  
70歳以上の一人暮らしで希望する方を対象に配付します。
- ◇ 生活安全対策 2,946万円  
町会・自治会に対し、防犯パトロールへの物資支援や防犯講演会の開催を行うほか、警視庁OBによる防犯指導などを実施。また、引き続き、八王子駅周辺の安全安心パトロールの強化を図ります。

## その他の事業

◇防災倉庫備蓄品購入…3,099万円 ◇防災倉庫整備・学校余裕教室改修…1,244万円など

### 5. 健康・医療、福祉施策の充実

- ◎ 駅構内エレベーター設置事業補助金 6,000万円  
片倉駅にエレベーターを2基設置、併せて高齢者・障害者などにも使いやすいトイレを設置し、福祉のまちづくりの推進を図ります。
- ◇ 在宅介護支援センター運営委託料 1億8,350万円  
在宅介護支援センター長房を開設し運営を委託します。

## その他の事業

◎東京都認定短期入所（障害者）…1,371万円 ◎高齢者筋力向上トレーニング…191万円など

### 6. みどり・環境の保全

- ◎ 緑地の公有化 14億円  
市街化区域の緑地を保全するため、公有化します。（取得財源としてミニ市場公募債10億円を発行）。※ミニ市場公募債…みどりを市民共有の財産として保全していく観点から、

公有化の財源とするため公募債を市民の皆さんから募ります。

- ◎ **みどりの保全基金への積立金** **1億 1,000万円**  
市街地の丘陵部に残る斜面緑地など、市民共有の貴重な財産であるみどりを保全・育成するため、ごみ指定収集袋収入の一部を資金に積み立てます。
- ◎ **斜面緑地保全** **848万円**  
減少している市街地のみどりを保全するため新たな「市街地内丘陵地のみどりの保全に関する条例」に基づき保全区域を指定し、維持管理費などを支援します。
- ◎ **雨水浸透施設等設置補助** **500万円**  
雨水浸透基礎調査に基づいてモデル地区などを設定し、水循環の再生に向けて宅地内雨水浸透施設や雨水貯留施設の設置費用を補助します。
- ◇ **ごみ収集有料化** **19億 2,729万円**  
ごみの発生抑制、減量啓発、不法投棄対策の充実、おとな用オムツ袋の無料配付を実施します。

#### その他の事業

- ◎ごみ処理基本計画の策定…694万円など

## 7. 地域産業の振興

- ◎ **観光案内標識の設置** **500万円**  
外国人旅行者などが安心して観光を楽しめるよう、外国語や図記号表記のある観光案内板を設置します。
- ◎ **観光マップの作成** **250万円**  
ウォーキングコースの観光マップを作成・配布します。
- ◎ **若年者就職促進** **250万円**  
心理カウンセラーによる就職相談を実施し、若年者の就職に対する心理的不安の解消を図ります。
- ◇ **先端技術センター構想の推進** **7,597万円**  
企業の技術革新や新規事業の展開を推進するため、八王子駅周辺に情報発信コーナーや技術交流スペースなどを備えたセンターを開設します。

#### その他の事業

- ◇中心市街地活性化…658万円など

・・・広報3月1日号より